

# 避難マニュアル [火災編]



# 避難マニュアル [火災編]

本マニュアルは、駒場小空間に影響する、火災が発生した場合、またはその発生が予想される場合において、使用者および外部の観客等の安全を守るための手引きを示したものである。駒場小空間の使用に際して、使用責任者は必ず使用前に本マニュアル及び、別紙地震マニュアルを確認の上、必要に応じて構成員にも情報共有を行うこと。

- |             |                 |
|-------------|-----------------|
| 1. 事前準備として  | 5. 総務部への連絡      |
| 2. 地震発生時三原則 | 6. フローチャート（公演時） |
| 3. 速やかな避難   | 7. 避難設計         |
| 4. 駒場小空間の施錠 | 8. 消火器マップ       |

# 1. 事前準備として

## 使用責任者は非常時に備えた事前準備を必ず行うこと

- 舞台図の作成にあたり、各部門責任者とともに非常時の避難導線を想定すること  
→模範例を7に示す。
- 使用期間中の避難訓練の実施を推奨する
- 教養学部より発表されている「駒場Ⅰキャンパス防災マニュアル」を事前に確認すること  
(本マニュアルは上のものに準拠する)

## 2. 火災発生時三原則

---

- 速やかな避難
- 施錠しきらない
- 守衛に連絡

### 3. 速やかな避難

## 初期対応

- 火災が起きたら
  - ・ 「火事だ！」と大声で周囲の人に知らせる
- 公演等の中止
  - ・ 公演、練習等は中止する
  - ・ 照明をつける
  - ・ 音響機材の電源を落とす
- 初期消化の実施
  - ・ 消化器を使う
  - ・ 3Gで火が起きた場合は、消化器落下による二次災害を防ぐため初期消化を行わない
- 守衛所へ連絡
  - ・ 外線:(03)5454-6666

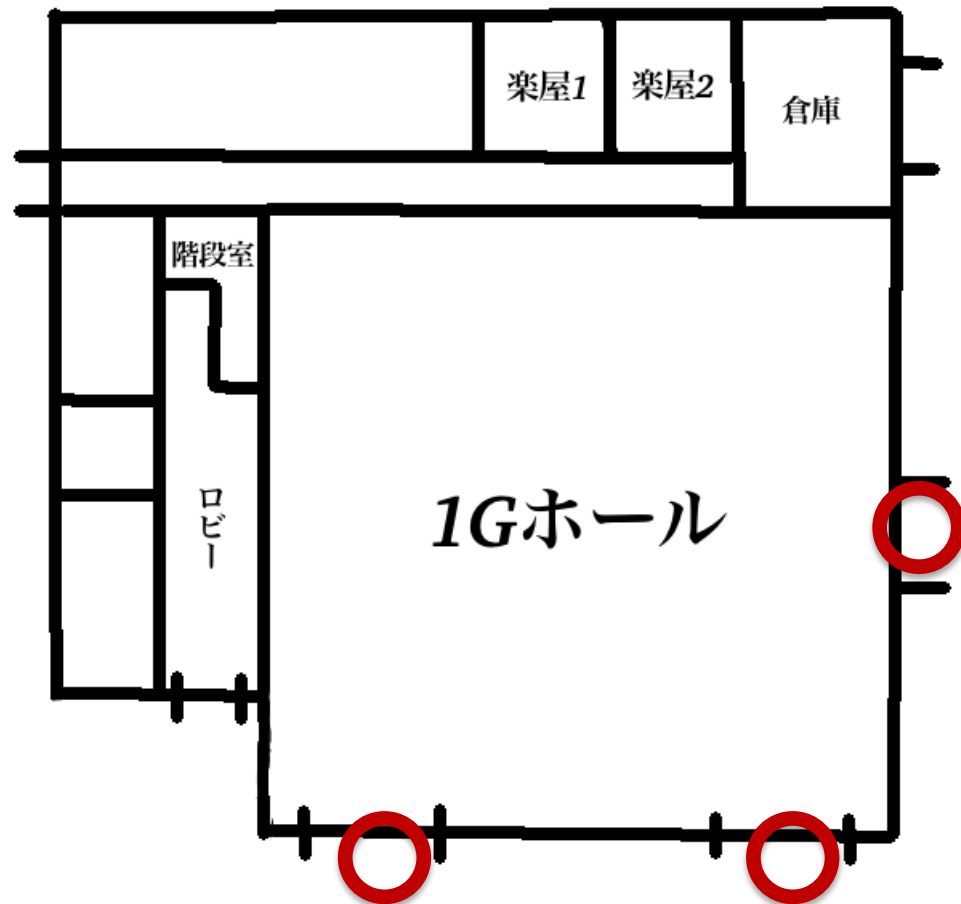
## 避難

- ホール内の全員を安全な場所に避難させる
  - 駒場図書館前の広場に避難する
  - ハンカチなどで口を覆い、低い姿勢で避難する
  - 使用責任者は次項に記す施錠を行う

## 4. 駒場小空間の施錠

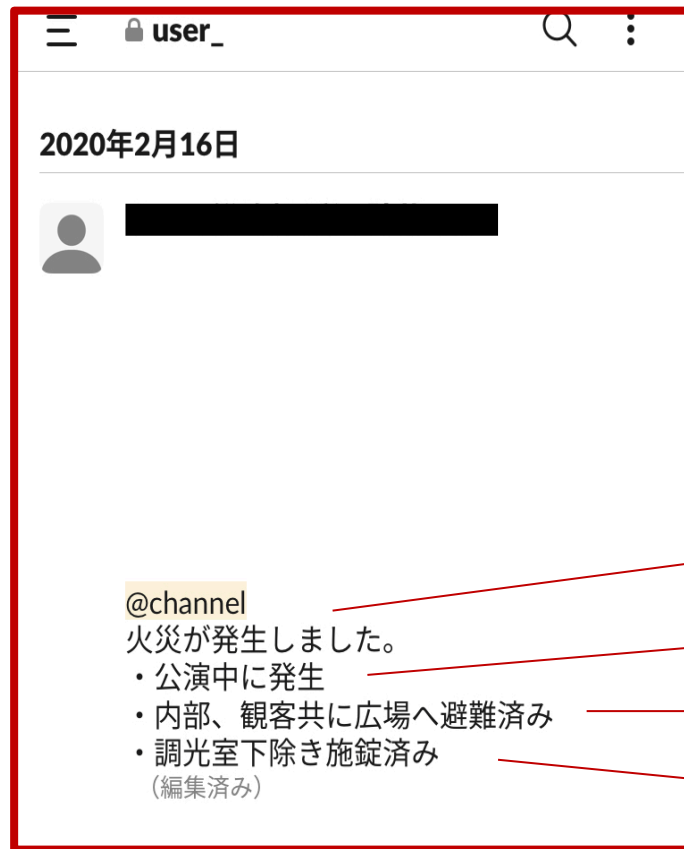
施錠の際はバックドラフトを防ぐために、  
必ず右図に○で示すドアのうち1つ以上を開けたままにする。

また、部外者が立ち入ってしまうことを防ぐため、ドアには番をつける



## 5. 総務部への連絡

避難完了後、使用責任者は速やかに多目的ホール総務部に連絡する



連絡は駒場小空間user slackで行う

**@channelをつけて全体にメンション**

1. 発生時の状況

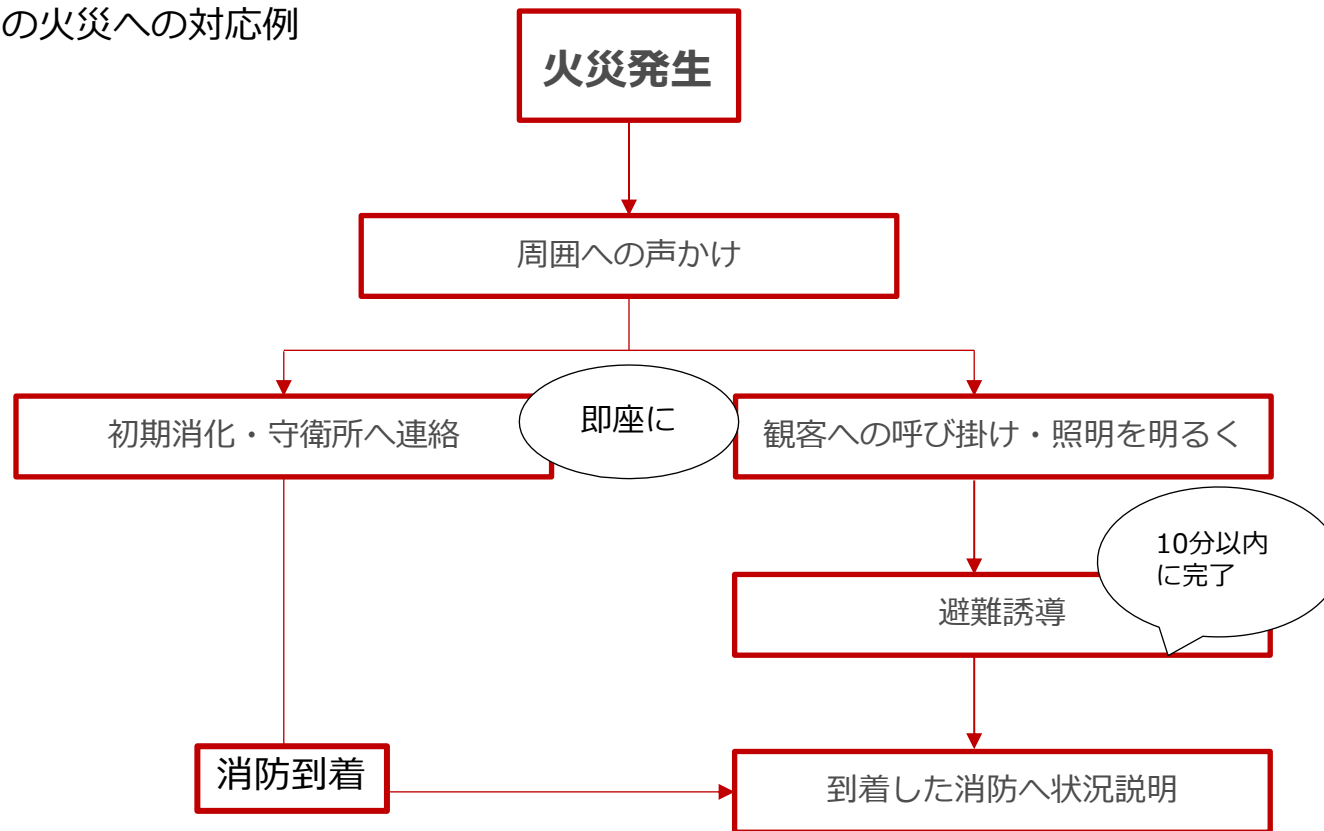
2. 現在の状況

3. 施錠状態の確認 の3点を必ず連絡する



## 6. フローチャート（公演時）

参考として公演時の火災への対応例  
を紹介する



## 7. 避難設計

舞台責任者は以下を参考に非常時を  
想定した設計を行うこと

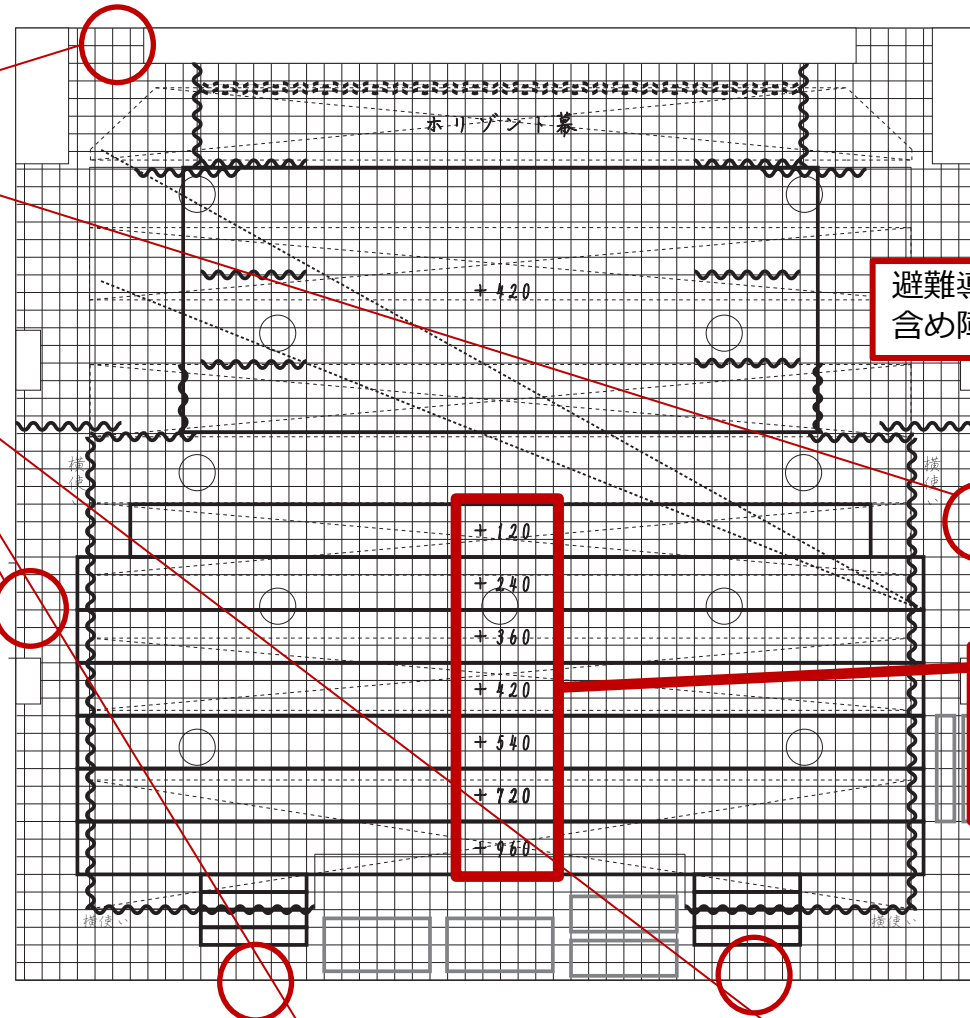
避難口は3カ所以上設ける  
(倉庫は含めない)

避難口付近に障害物や  
燃えやすいものを設置しない

客席上には通路を設け、  
通路には椅子を設置しない

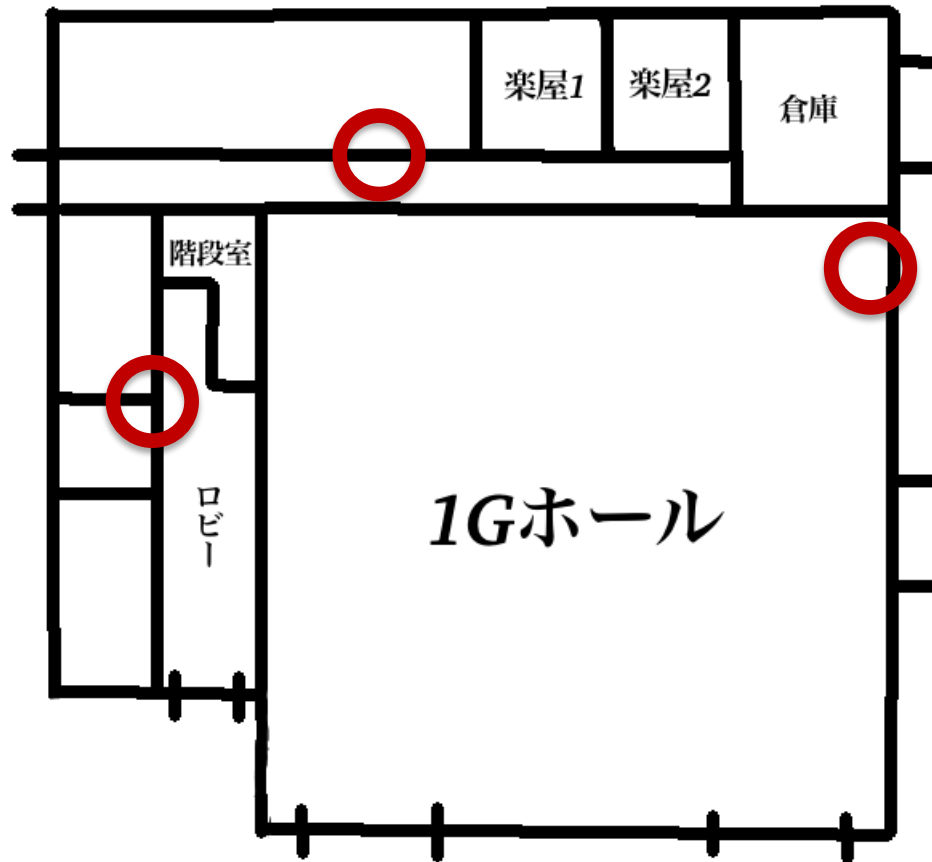
避難導線を設定し、導線上にはコード  
含め障害物のないようにする

客席の段差は300ミリ以  
下とし、高くなる場合には  
1\*3ステップ等を使い、足  
場を増設する

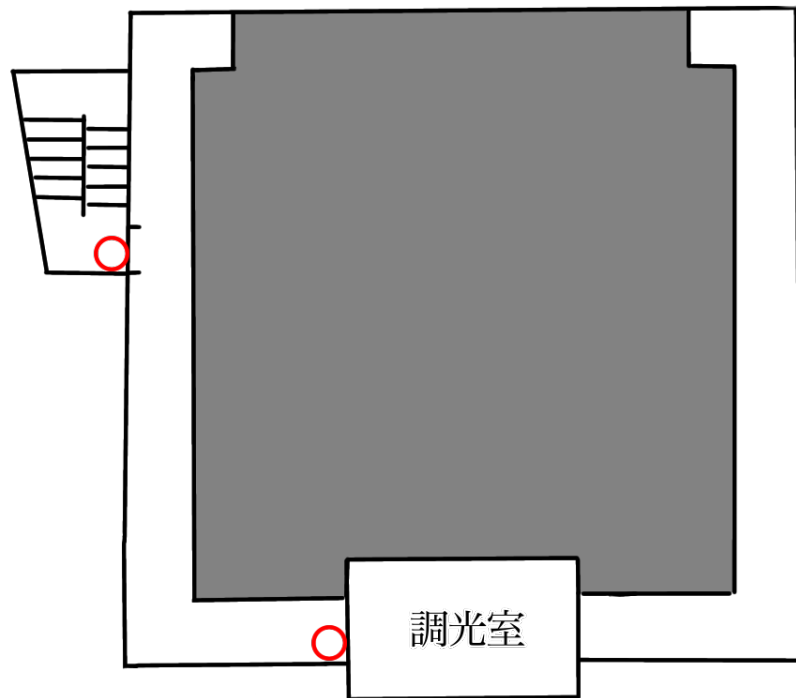


## 8. 消化器マップ

<1G>



<2G>



<3G>

